

当科で十二指腸ステントを留置し、その後胆道のドレナージを行った方へ

1. 研究の対象

2014年4月から2023年3月まで当科で十二指腸ステント留置を行った190例の内、十二指腸ステント留置後に胆道のドレナージを必要とした51例。

2. 研究目的・方法

当科における十二指腸ステント留置例における胆道ドレナージについて後方視的に検討し、ドレナージルートや開存期間などにつき報告する。

研究期間：倫理審査委員会承認日 ～ 2023年9月30日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢・性別・原疾患などの患者背景、十二指腸狭窄の部位、胆道ドレナージの方法、ステントの開存期間など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

当院研究責任者：

新潟県立がんセンター新潟病院 消化器内科

当院研究責任者：塩路 和彦

連絡先：新潟市中央区川岸町2丁目15番地3

TEL：025-266-5111（大代表）